



< 外来治療センター >

概要

当院は地域がん診療連携拠点病院として各種のがん治療に以前より積極的に取り組んできました。外来治療センターは平成 18 年 4 月に開設され、5 月 22 日より運用が開始されています。

近年、患者様の QOL の向上と医療経済の効率化を命題に外来での化学療法が増加しています。この背景には、癌の告知が進んだこと、制吐剤や G-CSF などのサポーターケアが進歩したこと、診療報酬制度の変化（DPC の導入や外来化学療法加算の新設など）などがあげられます。当院でも安全で効率的な化学療法を快適に外来で受けて頂けるように細心の注意を払い業務に取り組んでいます。

スタッフ

構成員は兼任でセンター長 1 名、当番医は午前午後の交代で 1 名、専任看護師 2 名、パート看護師 3 名、専任薬剤師 1 名、事務職員 1 名で取り組んでいます。

病床数は 20 床で、そのうちベッド 10 床、リクライニングシート 10 床です。

開設初期には毎日ほぼ 20 名程度の治療を実施してきましたが徐々に増加してきており、最近では多い日は一日に 50 名を超えることもあります。

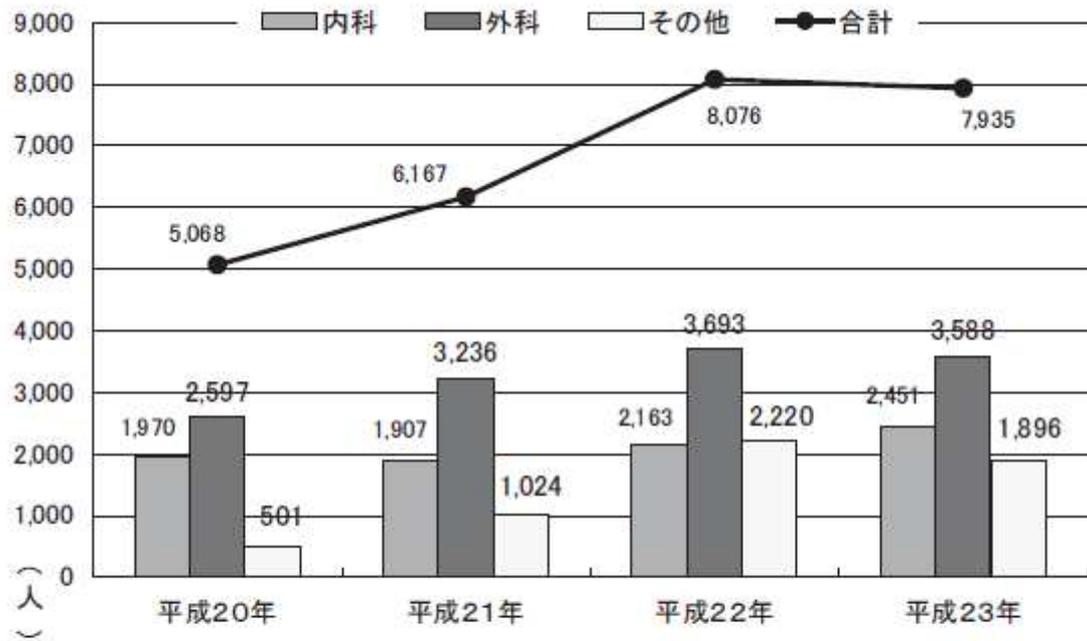
治療の概要

現在、乳がん、消化器がん、悪性リンパ腫、肺がん、膀胱がんなどの化学療法が主に行われています。また、婦人科系のがんや小児の悪性腫瘍なども対象になっています。

原則として各診療科で当日の採血検査などを実施し、この結果を主治医がチェックしたうえで外来治療センターで化学療法が施行されます。事前の予約によりベッドがキープされ、検査などでの待ち時間ができるだけ短縮されるように工夫されています。安全に化学療法を受けて頂けるようにコンピューターによるオーダーリングで医師・看護師・薬剤師の二重、三重のチェックのもとに実施されています。審査・登録されたレジメに基づいた治療が行われ、最初の治療前に担当薬剤師からも治療の内容や期待される効果・副作用などについて説明させて頂いています。ベッド・リクライニングシートともに TV・DVD が装備されていて快適な時間を過ごして頂けるようにアメニティーにも配慮しています。入院で規制の多い時間を過ごすより、患者様が自宅でゆったりとした生活を続けながら治療を継続して頂けるように今後も病院全体でより良いシステムの構築に取り組んでいきたいと考えています。

治療の実績

治療の実績 (患者数)



治療の実績 (患者数 1月～12月)

(人)

	内科	外科	その他	合計
平成20年	1,970	2,597	501	5,068
平成21年	1,907	3,236	1,024	6,167
平成22年	2,163	3,693	2,220	8,076
平成23年	2,451	3,588	1,896	7,935

業績

- 学会・研究会発表
- 座長
- 講演
- 論文

学会・研究会発表

1. 小腸に転移し多形癌が疑われた肺癌の1例
大舘 満、鈴木隆二郎、権田秀雄、梶川茂久、輿語直之、福井保太、倉橋祐子
第 99 回日本呼吸器学会東海地方学会(名古屋)2011.6
2. Erlotinib after failure of gefitinib therapy in patients with non-small cell lung cancer (NSCLC) with or without epidermal growth factor receptor (EGFR) mutation.
Hiroshi Saito, Kimura Tomoki, Takashi Abe, Masashi Kondo, Tomohiko Ogasawara, Yoshimasa Tanigawa, Toshihiko Yokoyama, Eiji Kojima, Masashi Yamamoto, Ryujiro Suzuki
IASLC (Amsterdam) 2011.6

座長

1. クロージングリマーク
鈴木隆二郎
三河胸部腫瘍フォーラム(安城)2011.1
2. クロージングリマーク
鈴木隆二郎
NAGOYA LUNG CANCER SEMINAR(名古屋)2011.5
3. クロージングリマーク
鈴木隆二郎
第二回三河胸部腫瘍フォーラム(安城)2011.6
4. 特別講演座長
鈴木隆二郎
東三学術講演会(豊橋)2011.7

5. 特別講演座長
鈴木隆二郎
第 15 回豊橋がん診療フォーラム(豊橋)2011.9
6. 座長
興語直之
第8回緩和ケア講演会座長(院内)2011.9
7. 特別講演座長
鈴木隆二郎
第 73 回東三河呼吸器疾患研究会(豊橋)2011.11
8. 特別講演座長
鈴木隆二郎
SONG'S FORUM in 名古屋(名古屋)2012.2
9. クロージングリマーク
鈴木隆二郎
CINV フォーラム in 三河(知立)2012.3

講演

1. 当院の緩和ケアチームの一年間の活動報告
興語直之
第7回がん緩和ケア講演会(豊橋)2011.3
2. がん化学療法に伴う悪心/嘔吐の症状マネジメント
小松景子
認定看護師セミナー(豊橋)2011.6
3. 下痢の症状マネジメント
小松景子
がん看護ジェネラリストナース育成プログラム(名古屋)2011.7
4. 抗がん剤の安全な取扱いと投与管理
小松景子
フレッシュ研修(豊橋)

5. 抗がん剤の穿刺と血管外漏出の予防
小松景子
中途採用者研修(豊橋)2011.10
6. 『NSCLC に対するベバシズマブ併用化学療法6例の使用経験』
福井保太
第 21 回三河肺腫瘍研究会(安城)2011.10
7. ディスカッション
興語直之
第2回肺癌集学的治療セミナー(豊橋)2011.10
8. 肺癌の targeted therapy について
鈴木隆二郎
豊橋薬剤師会講演会(豊橋)2011.12
9. 抗がん剤の穿刺と血管外漏出の予防
小松景子
中途採用者研修(豊橋)2012.12

論文

1. Phase II study of S-1 monotherapy as a firstline treatment for elderly patients with advanced nonsmall-cell lung cancer: the Central Japan Lung Study Group trial 0404
Nishiyama O, Taniguch H, Kondoh Y, Takada K, Baba K, Saito H, Sugino Y, Yamamoto M, Ogasawara T, Kondo M, Imaizumi K, Hasegawa Y, Suzuki R, Shimokata K
Anticancer Drugs 22: (8) 811-6, 2011
2. Phase I and pharmacologic study of weekly amrubicin in patients with refractory or relapsed lung cancer: Central Japan Lung Study Group (CJLSG) 0601 trial
Kitagawa C, Saka H, Kajikawa S, Mori K, Oki M, Suzuki R
Cancer Chemother Pharmacol WEV version 2011

